



◆令和5年12月8日

## 女性農業委員の登用活動について栃木県から表彰されました！

女性委員の登用に向けた要請活動や子どもたちに農業の楽しさを知ってもらうための食育活動など、これまでの取組や功績が評価され、栃木県から表彰されました。

興野会長は受賞挨拶で「受賞できたのは、各市町の女性委員はもちろんのこと、設立当初から奮闘してきた先輩方のご尽力、支えがあったからです。これからも止まることなく誰もが輝ける農村社会を目指し、共に邁進していきましょう」と力強く呼びかけました。



(左：熊田農政部長から表彰状を受け取る会長、右：表彰状を囲む役員たち)

表彰式終了後、第15回通常総会および研修会を開催しました。研修会では、高根沢町農業委員の石塚啓子さんから「農地の集約・集積・遊休農地について」、鹿沼市の大森用子会長より「鹿沼市農業委員会による食育活動について」と題して事例報告がありました。



(左：鹿沼市の事例報告の様子、右：事例報告を聞く女性委員たち)

◆令和5年12月13日



## 関東ブロック女性農業委員等研修会 in 群馬に参加しました

栃木県から86名の女性委員、事務局職員が参加しました。研修会のテーマは、“女性の意向や意見も反映した「地域計画」の作成のため、農地利用最適化の課題解決に向けて取り組もう！”。東京農業大学の堀部教授の講演を聞き、地域農業の発展のために農業委員会ができることは何か、皆で考えました。

◆令和6年1月17日 / 3月6日



## 「令和6年度女性の農業委員登用促進研修会」

### 「第19回女性の農業委員会活動推進シンポジウム」に参加しました

登用促進研修会では、各ブロック（北海道・東北、関東、北信越、東海・近畿、中国・四国、九州・沖縄）の理事が女性委員の登用状況や登用促進の課題等について報告した後、「今後、女性委員の登用を進めるために一番求められること」をテーマにグループディスカッションをしました。



（ディスカッションの様子）

#### ディスカッションで多くあがった意見

- ◇ メディア（新聞、テレビ）を使って、農業委員会活動や女性の登用について地元へアピールする。
- ◇ 「私なんて…」という女性には、「あなたと一緒にやりたい」「私がフォローするから」と声をかけて不安をなくしてあげると、一歩前に進める。
- ◇ 女性だけで動かず、男性も巻き込む。根回しが大事。

シンポジウムでは、埼玉県久喜市で若手農業委員として活躍している(株)7mmの代表取締役社長 高橋七海さんの講演を聞きました。高橋さんは、久喜市長の「市内の学校給食の地産地消率を上げたい」という目標に共感し、久喜市への参入を決意。現在は農業委員として、遊休農地の解消や新規就農者のサポート、後継者のいない農家の引継ぎを行い、担い手の育成・確保に努めています。



◆令和6年3月7日

## とちぎ女性農業委員の会が農林水産大臣賞を受賞！！

平成15年の設立当初から、県内の農業委員会などに対して女性登用の要請活動を継続しており、その結果、女性農業委員の登用率は22.5%（令和6年3月時点）に達し、7年連続で全国1位を維持していること、農地制度の研修会や食育活動、地元の女性農業者の意見を集約して農政に反映させるなど、地域農業への貢献が評価され、農水省の令和5年度農山漁村女性活躍表彰で最優秀賞である農林水産大臣賞を受賞しました。



（左：表彰状を受け取る興野会長、右：受賞を喜ぶ役員と栃木県農業会議の國井会長）

3月28日、県庁を訪問し、福田知事に受賞報告をしました。

知事から「女性の登用率が全国1位なのは誇りに思う。今後も女性の人数を増やしたり、技術を磨いてほしい」と激励の言葉をいただきました。



（左：地元メディアから取材を受ける役員たち、右：知事に受賞報告をする様子）





◆令和6年5月22日

## 農業農村男女共同参画研修会で事例発表しました

栃木県農村女性会議の定期総会および研修会に参加しました。総会では役員改選が行われ、本会の大森副会長が役員に選出されました。研修会では、令和5年度農山漁村女性活躍表彰受賞者として、県内の女性農業者に向けて、本会20年の歩みを事例発表しました。

(写真：事例発表する興野会長)



◆令和6年9月24日 / 10月4日



## 農業委員会への女性登用に向けた要請活動を実施しました

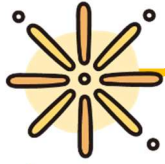
令和7年度に改選を迎える栃木市農業委員会へ、女性登用の要請活動を実施しました。

9月24日、栃木市の大川秀子市長、農業委員会会長、会長職務代理者、女性農業委員、事務局職員と意見交換し、「女性農業委員・農地利用最適化推進委員の登用に向けた要請書」を手渡しました。10月4日、再訪問し、栃木県農村女性会議と共に要請しました。

現在、栃木市の農業委員の女性登用率は28.6%（21名のうち6名）。栃木市は県内で初めて女性農業委員の活動グループ「なでしこ委員会」を結成し、食育活動や家族経営協定の推進に取り組んでいます。



写真上：大川市長（左上）、  
農業委員会（右上）と  
意見交換する本会の興野会長、  
大森副会長、大野副会長  
写真下：栃木県農村女性会議と実施  
した要請活動の様子



## とちぎ女性農業委員の会設立 20 周年記念式典を開催！

本会は平成 15 年 1 月 17 日に設立され、令和 5 年 1 月に満 20 年を迎えました。

さらに、女性農業委員の地位確立に向けた活動が顕著であるとして、令和 5 年 12 月に栃木県知事賞を、令和 6 年 3 月には農林水産大臣賞を受賞しました。これらを記念して、令和 6 年 10 月 7 日に記念式典を開催しました。

(写真：式典会場の様子)



式典では、これまで本会を支えてこられた歴代の会長、副会長の皆様のご尽力に感謝の意を表し、感謝状を贈呈しました。



(左：感謝状を受け取る相場元会長、右：当日出席した歴代の会長および副会長たち)



これまでの活動を集約した設立 20 周年記念誌を作成し、会員や関係者に配布しました。

作成にご協力いただいた農業委員会および関係機関の皆様にご心より感謝申し上げます。

◆令和6年11月15日



## 関東ブロック女性農業委員等研修会 in 埼玉に参加しました

栃木県から93名の女性委員、事務局職員が参加しました。

農業委員として、遊休農地の解消や新規就農者のサポート、後継者のいない農家の引継ぎを行い、担い手の育成・確保に努めている、(株)7mm(埼玉県久喜市)代表取締役社長の高橋七海さんの講演を聞きました。



(左：講演する高橋さん、右：交流する関東ブロックの女性委員たち)



講演後は、各県の女性協議会会長が講演の感想や県内の現状(登用率、協議会の活動等)をスピーチし、情報共有を図りました。

来年度の関東ブロック研修会は、千葉県で開催されます。千葉県の皆さん、よろしくお願いいたします！